

平成30年度JKA補助事業に係る導入機器の評価について

【平成31(2019)年1月31日(木)14:00～ 産業技術センター所長室】

- 1 参集者 平出所長、菊地副所長兼管理部長、大嶋副所長、
伊藤技術交流部長、赤羽機械電子技術部長、諏訪材料技術部長、岡本食品技術部長、
柏崎繊維技術支援センター長、小野県南技術支援センター長、
大歳紬織物技術支援センター長、呉井窯業技術支援センター長
- 2 導入した機器
万能材料試験機【500kN】(機械電子技術部)
ア 機種 島津製作所製 UH-F500kNX
イ 購入先 竹田理化工業(株)宇都宮支店
ウ 契約金額 19,234,800円
- 3 実施経過
平成30年 5月21日 銘柄指定委員会開催
7月17日 万能材料試験機【500kN】一般競争入札実施
7月18日 万能材料試験機【500kN】購入契約締結
12月17日 万能材料試験機【500kN】納品、検収
平成31年 1月17日 万能材料試験機【500kN】支払い
- 4 現在までの使用状況
・万能材料試験機【500kN】
正副担当2名を配置し、運用を開始した。機器導入から約1ヶ月で、製品に使用される材料の特性が規格内に収まるかの確認、製品及び改良品の引張強度の比較、製品の圧縮強さの確認等で52件の利用があった。また、機器開放や研究業務などで10件の利用があった。
- 5 今後予想される波及効果
・万能材料試験機【500kN】
従来の機器では対応できなかったプログラム運転による試験(引張試験、圧縮試験、サイクル試験)が可能となった。
これにより、材料や製品の使用において想定される様々な場面を再現した強度試験に活用でき、これまで以上に多くの企業の試作開発や品質管理、製品開発を支援することが可能になると見込まれる。
- 6 総括
本庁工業振興課と産業技術センターとの連携を密にし、事業を遅滞なく進めてきた結果、計画よりも約3か月前倒しで機器を導入することができた。
また、機器導入後においては、迅速適切な広報、周知等により、導入初期から依頼試験・機器開放・研究業務等の企業支援業務での利活用が図れた。
今後、技術者研修や企業からの技術相談など、あらゆる機会を通じて今回導入した機器のPRを積極的に推し進めて、当該機器の十分な活用を図っていくこととする。